

## 1. 活動のテーマ

### <テーマ>

動き 0歳児から5歳児  
～注意機能と運搬動作の協応（保持・運搬・バランス調整・受け渡し）～

### <テーマの設定理由>

ぬいぐるみを持って歩いたり、友だちや保育者の体の下をくぐったりする動きを通して、全身を使った多様な動きを経験できると考えた。  
くぐる・またぐ・支えるといった動作の中で、体の向きや高さを意識しながら姿勢を調整する姿が見られ、体幹やバランス感覚の育ちにつながっている。  
また、友だちの動きを感じ取りながら順番を待ったり、相手に合わせて動いたりすることで、周囲を意識した行動や関わり合いが育つことをねらいとして設定した。

## 2. 活動スケジュール

### 1. 活動の導入

- ・保育者がぬいぐるみを持って歩き、お腹下をくぐる様子を見せ、遊び方を伝えた。
- ・無理のない姿勢で行うことや、順番を守ることを簡単に知らせた。

### 2. 子どもたちの活動

- ・子どもたちがぬいぐるみを持ち、保育者や友だちのお腹の下をくぐりながら散歩を楽しんだ。
- ・くぐる側、支える側の両方を経験し、繰り返し遊びに取り組んだ。

### 3. 活動のふりかえり

- ・リーダー、職員会議を通して子どもの姿や育ちについて共有し振り返りを行った。
- 主に6月から12月に活動を展開 合同保育やかクラスの保育で遊びを開催

## 3. 探究活動の実践

### <活動の内容>

#### 環境・素材の設定

- ・布製の動物や海の生き物のぬいぐるみを用意し、安心して持てる素材を選んだ。
- ・床に十分なスペースを確保し、転倒や衝突の危険がないよう配慮した。
- ・保育者は子どもの近くで見守り、必要に応じて姿勢や動きを援助できる位置についた。

#### 活動中の子どもの姿

- ・ぬいぐるみを大切そうに持ちながら、前を見てしゃがんでくぐろうとする姿が見られた。
- ・お腹を高く上げて友だちが通りやすいように体を支える姿があり、腕や足に力を入れて姿勢を保っていた。
- ・「どうぞ」「こっちだよ」と声をかけ合いながら、友だちと関わって遊ぶ様子が見られた。
- ・くぐるのが楽しくなり、何度も繰り返し挑戦する姿もあった。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

音楽を使った活動の幅が大きく広がり、保育内容がより充実したものになった。Bluetooth機能付きのラジカセを導入したことで、様々なジャンルの音楽を気軽に取り入れることができ、子どもたちの反応を見ながら柔軟に活動を展開できた点が良かった。運動会では、これまで以上に子どもたちが自信を持って身体を動かす姿が見られ、日々の音楽活動の積み重ねが表れていると感じた。子どもたちの「やってみたい」「もっと動きたい」という好奇心や探究心が、音楽をきっかけに引き出され、成長につながっていることを改めて実感した。